

# 令和6年度 熊野町立熊野中学校区の実践

探究的な学びを中核とした「学びの変革」カリキュラム研究開発事業

# 発表の流れ

1. 目指す姿
2. 今年度の研究の進め方
3. 今年度の単元開発 - ①熊野中の実践(1)・・・中1  
②熊野中の実践(2)・・・中2・中3  
③第一小の実践、第三小の実践
4. 成果と課題
5. 来年度に向けて

# 1. 目指す姿

熊野中学校区の特色

探究 × ふるさと学習

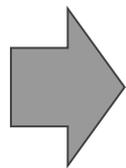
# 本事業で熊野中学校区が目指す姿

「ここをよりよい場所にするために自分自身がかかわっている」という  
当事者意識に基づく自負心

①地域学習を持  
続可能なカリキュ  
ラムとして構築す  
る

②「地域を愛し 地  
域に愛され 地域に  
生きる生徒の育成」  
実現

③児童生徒にシビッ  
クプライド(都市に  
対する市民の誇り)  
が醸成されている



「ふるさと熊野」に誇りと愛情をもち、  
熊野で学んでよかったと思える教育  
…「ふるさと教育」を基盤とした学び続ける力の育成

## 今年度のテーマ

地域を愛し 地域に愛され 地域に生きる生徒の育成  
～小中のつながりをもたせたシビックプライドの醸成～

系統的に育成を目指す資質・能力

# 表現力

## ◆昨年度までの成果

○児童生徒の「表現力」の向上

○本中学校区において、育成したい  
資質・能力である「表現力」のルーブ  
リックの見直し・明確化

→教員の「表現力」育成に対する  
意識向上

## ◆今年度の課題

●小学校の地域学習と中学校での  
地域学習のつながりが弱い。

●中学校における組曲は芸術活動  
の側面が強く、生徒たちの主体性を  
引き出す探究的な学びには至ってい  
ない。

# 今年度の研究

# 伴走型支援の活用

①校内研修の実施…花岡指導主事による校内研修

→探究とは何か?を全教職員で共有

②10回の探究的な学習部会の中で、様々な立場の教員が協議に参加

…研究主任、研究部所属教員、学年、教務部所属教員

③先進校視察

…熊本市立北部中学校 ※カリキュラムマネジメントの方法について

# お互いの授業を参観し合う雰囲気づくり

①昨年度から継続

年間3回の代表者授業の実施

※全教職員で参観し、全教職員で協議

②管理職の授業参観・巡回



校長の薦め→職朝プリントで参観可能な授業の紹介

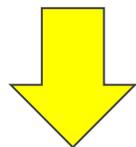
空き時間に他教員の授業を参観



# 全教職員で協議する場の設定

以前

来年度の  
総合的な学習の時間の計画は  
総合担当が考える



学年会で検討  
全教職員で検討

全教職員で  
総合的な学習の時間を軸に  
探究を進めていく意識



# 探究的な学びを中核としたカリキュラム開発

総合的な学習の時間を軸に  
教科の中でも力を付けていく

①内容的に関わる

②資質能力(表現力)の育成  
に関わる

一覧できるスプレッドシートの  
入力

→教科横断的な視点

R6 熊野中学校の重点課題【表現力】とは...多様な考えを想定しながら、相手を説得できるように、表現を工夫して分かりやすく伝

	問い		探究課題	ルー...
1年	地域(熊野)に何ができるか?	組曲を盛り上げるために何ができるか?	町づくり、組曲	目的に
2年	どうつなげるか?どうつながるか?	組曲をどうつなげるか?組曲とどうつな がるか?	組曲、キャリア	異なる
3年	自分はどう生きるか?	自分と組曲はどう生きる?	防災減災、組曲、自己実現	多様な

総合的な学習の時間と「絡める」とは、  
総合的な学習の時間に①内容的に関わるという意味でもいいですし、  
総合的な学習の時間に②今年度の重点「表現力」の育成に関わるという意味でもOKです。

★ 今年度の実施(今年度or来年度の総合的な学習の時間と絡めて1学期・2学期にこんなことやってみた&3学期にこんなこ

教科	国語			社会
担当	小松T	中村友	宮武T	
学年	1年	2年	3年	

# 課題1 小学校の地域学習と中学校の地域学習のつながりが弱い。 →小中のこれまで(R5)のふるさと学習の整理

## ◆一小

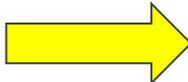
3年	学校・地域 地域の伝統
4年	福祉、町づくり、キャリア教育
5年	防災・減災、町づくり
6年	国際理解、伝統・文化

## ◆三小

3年	熊野町の人・もの・こと
4年	熊野町の安心・安全
5年	熊野町の農業と生産者
6年	伝統と学校文化

## ◆熊中

中1	伝統と学校文化
中2	熊野町の安全 伝統と学校文化 熊野町の職業
中3	熊野町の安全 伝統と学校文化

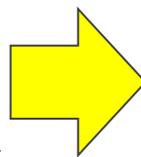
 昨年度まで「防災・減災学習」というテーマを合わせて小中連携を行ってきたが、防災・減災学習のくり返し学習になっている。

中学校における地域学習は防災減災学習にこだわらなくてもよいのでは？  
テーマを合わせた小中連携からの脱却を考えるべき

## 課題 2 : 中学校における組曲は芸術活動の側面が強く、 生徒たちの主体性を引き出す探究的な学びには至っていない。 (組曲をいかに探究していくか)

### ◆昨年度までの組曲

- (1) 全学年で組曲「筆の都くまの」  
に取り組む
- (2) 太鼓・踊り・篠笛・書道・吹奏楽  
のパートごとに分かれて教員主導  
で行う
- (3) 活動・体験重視



### ◆今年度の変化

- (1) 1年生は単独でふるさと学習に取り組む
- (2) リーダー・小グループを中心とした活動形態  
※教員はあくまでファシリテート
- (3) 相互フィードバックシートの導入
- (4) 篠笛パートに「広報」活動を盛り込む

# 今年度の単元開発

# 熊野中の実践(1)中 | 「出動！熊野を盛り上げ隊」

## 単元の目標

：人口流出や少子高齢化の問題を抱える地域がもっと賑わうように、地域の伝統や活性化に取り組む人々の取組を調べたり、地域の魅力や課題を踏まえた地域のイベントを開発して発信したりする活動を通して、**持続可能な地域の在り方について考え、地域のよさを大切にしながら当事者意識をもって生活していくことができるようにする。**





きらら会（くまの東ふれあい館を運営管理している団体）の方たちが同じような事を実際にしようとしているよ。

それならきらら会の方達のお話を聞いてみたい！

コラボすることに！

- ・プレゼントの大きさ
- ・椅子1個分
- ・作りか
- ・竹で形を作る
- ・ライトを巻く
- ・土留を置く



URL  
 (フリー)  
 ・170 cm  
<https://www.kirarakai.com/entry/172/>  
 説明  
 ・竹でスタンドのような形を作って、そこに巻かせる  
 ・巻いた際の模様、思いのメッセージ、乾下、テープなどに塗

## 放送



## ポスター



## インスタ



## チラシ



デザインを基に制作



# 地域からの反応



kirarakai   フォロー   メッセージ

投稿300件   フォロワー3058人   フォロー中964人

深原地区公園

kirarakai

●広島県安芸郡野町新宮2-12-1  
NPO法人きらら会(指定管理団体)  
TEL082-820-5580  
熊野車ふれあい館、熊野5号口

12月1日から1月6日日曜日  
深原公園里山近くで点灯予定です。  
夜の深原公園へ  
今年は更にバージョンアップしたイルミネーションを  
お楽しみいただければ  
幸いです。🙏  
お楽しみに🌟🌟🌟🎁🎁🎁🌲🌲🌲

また、本日中国新聞さまが取材にお越しく  
ございました。  
中国新聞さま、ありがとうございました🙏  
🌟🌟🌟  
(どうか、掲載されますように🙏)

最後になりましたが、  
孫世代の子供たちと、触れ合える機会を  
いただきました  
熊野中学校さま、ありがとうございました🙏  
🌟🌟🌟😊

# 生徒たちは…

## 1年3組の感想、学んだこと

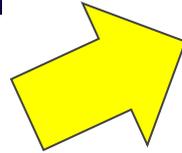
- ・みんなにきれいだと思ってもらえるように頑張った。
- ・貴重な体験ができて、楽しかった。
- ・熊野を少しでも盛り上げることができたらしいなと思った。



## まとめ

- ・熊野町民の1人としてイベントに参加
- ・引き続き熊野町を盛り上げるための取り組みを考える

おひげ



## 鹿児島の中学校と交流・ 2年生の組曲へ



学校運営協議会の方に実践報告したが…  
きらら会の方に手伝ってもらったんだよね  
と言われてしまう



# 他のクラスも…異年齢交流の場を！！



# 熊野中の実践(2)中2・中3…組曲「筆の都 くまの」

リーダー・小グループを中心とした活動形態

相互フィードバックシートの導入



相互フィードバックシート パート( ) メンバー( )

10月 10日(火)  
9 / 30

今日の課題  
組曲「筆の都」

振り返り  
良かったこと・できたこと  
おもしろいところ  
まだできていないところ

次回の課題の設定  
集中する！  
課題を達成するための具体的な行動

意欲は



組曲「筆の都 くまの」を通して、自分はどこができていないのかを知って、それを直すかや、上に書いていた表現力というのが身についたと思いました。悩んだことやしたことは、毎回書くふり返りの時に、また次組曲があるときに、〇〇を意識してやろうとか、教えてもらおうとかを考えて、次の時間のときに、強生に教えてもらうということをしました。

# 熊野中の実践(2)中2・中3…組曲「筆の都 くまの」

2・3年生が企画・運営した  
1年生向けの篠笛体験会

ポスター作成/動画作成/小学生向け放送音源録音



RCC広島!中高生ニュースへの応募・採用



# 熊野中の実践(2)中2・中3…組曲「筆の都 くまの」

心をひとつに! 全校生徒で取り組む組曲  
安芸郡 熊野中学校 応酬中興生二部一団

古武家傳のメロディが響く  
和太鼓の響き、その一瞬

最後に動きをばっちり合わせるどころです!

～はなはな～

# 熊野中の実践(2)中2・中3…組曲「筆の都 くまの」

## 地域からの反応



組曲の太鼓の音が  
とつたりとそつた時、  
とり肌が立つほど、感動  
しました。手足すべて  
を意識して動かしており、  
足置動感がありすばらし  
かったです。

組曲と始めて見ました。  
すばしく感動しました。迫りもあつて  
又山練習していたのがよく伝  
わりました。  
熊野中学校の伝統行事と  
して長く続けて欲しいと思つた。  
感重さをありがとうございます。



## 熊野中の実践(2)中2・中3…組曲「筆の都 くまの」 生徒の振り返りー今年度について

表現力や全員で創り上げる組曲は、いろいろな思いが  
つまっていると感じた。広報活動のときに文章をまとめるのが難し  
かった。組曲を見ていた全ての人たちに感動を与えられたと思った。

1人1人が自分の力を出さないといけないことだなと思った。最初  
は、「めんどうさいな」と思ったりもしたけど、やっていくうちに篠笛もどんどん  
吹けるようになって、楽しいと思えるようになって、見ている人たちに感動  
を届けたいと思った。全体練習の時にきれいにそろわなかったりもしたけ  
ど、本番をやってみて全て努力してきたことが本番で見せられた  
と思った。自分が1年生だったときには、鳥肌がたつた組曲を次の  
世代へと受け継いでいけることをすごく嬉しく思う。やはり、全員の  
心や気持ちがか1つにならないと創り上げられないなと思った。

楽しかった!! 次の世代にも期待できる!!

## 生徒の振り返りー今年度について

小6や中2に 組曲を教えるのが 楽しみのひとつ  
心から楽しんで、全体で練習して、美しく踊れたから。

今年の組曲は、22年連続してきたということだ。それだけの歴史が  
ある伝統をやりき、今年もこれだけはいいと考えました。だから、一年生に  
全力で教え、次の三年生に在る二年生に想いを託しました。どうやったか分かりず  
く理解できなかったらと教えている時に、教え方が身に付いたかと思えます。

この広報活動も片手ではかたじけなく、組曲の良さを最大限に伝えるための  
工夫もたくさんあったと思います。来年はもっと楽しく、さらに上のレベルで。

## 生徒の振り返りー来年度について

私は今年と同じように組曲を引き継いでいきたいです。そして組曲があるから熊中に入学する生徒が増えるようにポスターなどを作って、広めていきたいです。

- ・ 組曲を全く知らない人でも興味を持ってもらえるような組曲
- ・ 迫りある組曲      ・ 印象に残るような組曲
- ・ また見たいと思えるような組曲

# 熊野第一小学校の実践



# 熊野第三小学校の実践・4年生「安心・安全ランド」



自分の考えや調べたことを、相手や目的を意識して伝えた。

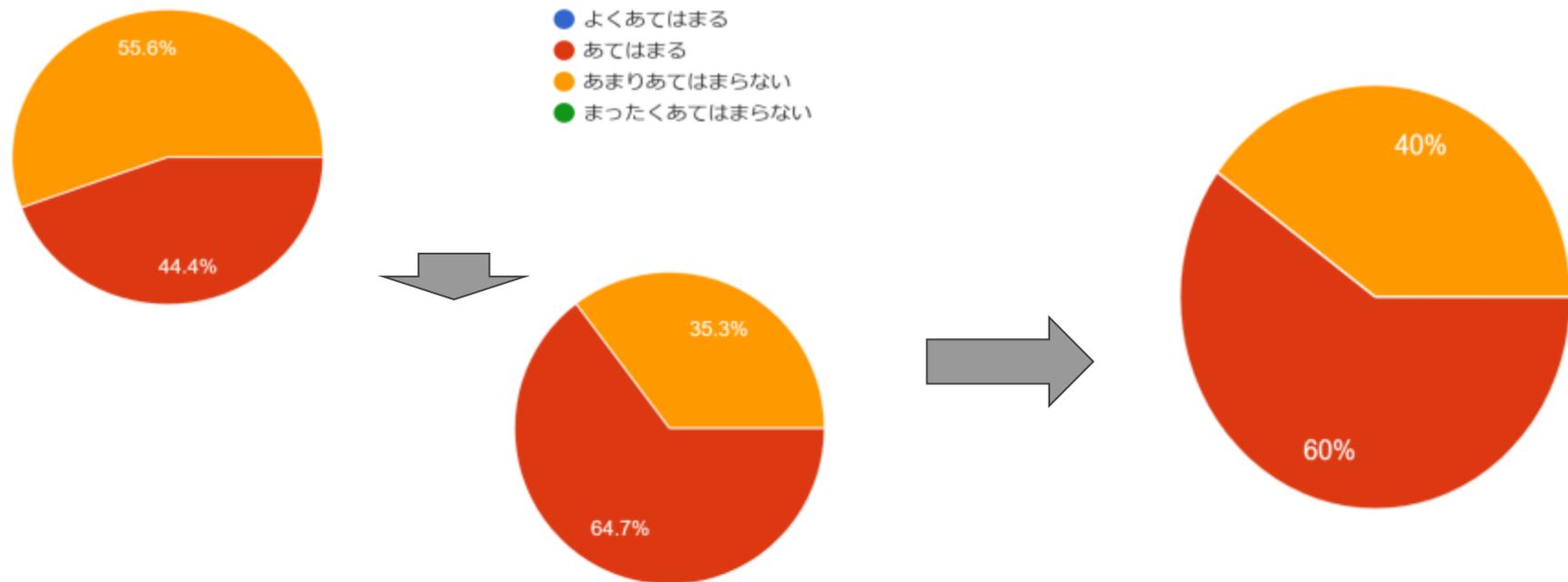
# 成果と課題

# 成果

- ①小学校段階で熊野町の魅力を理解していた児童が、中学校段階では熊野町の魅力だけではなく課題と向き合い、生徒主体の課題発見・解決学習を進めることができた。
- ②昨年度よりも多くの地域の方との連携を図り、地域の方に学ぶ機会が増えた。
- ③教職員が「探究」について協議する場面が多く見られるようになった。
- ④中学校独自の質問紙調査の肯定的回答の割合を本事業開始時（令和6年6月）と現在（令和7年1月）とを比較したところ、上昇が見られた。

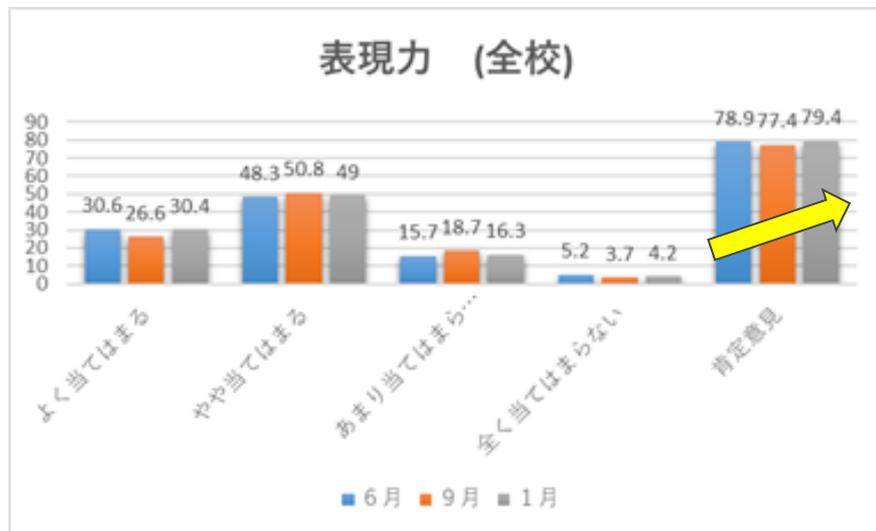
# 表現力・教員の意識調査(6・8・10月)

「生徒は、勉強したことを使って、自分の考えを分かりやすく伝えられるようになっている」

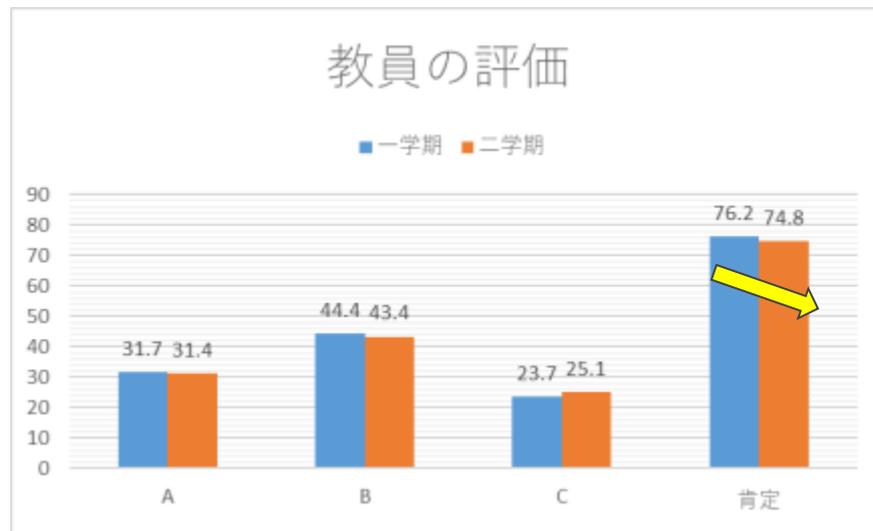


# 表現力の評価

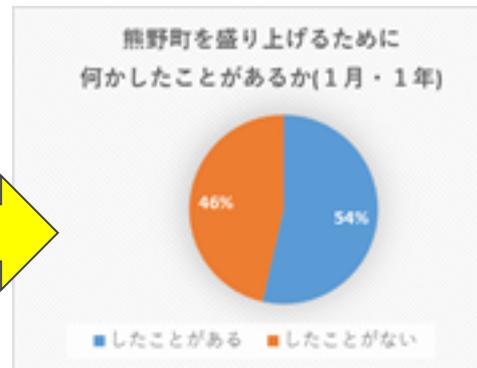
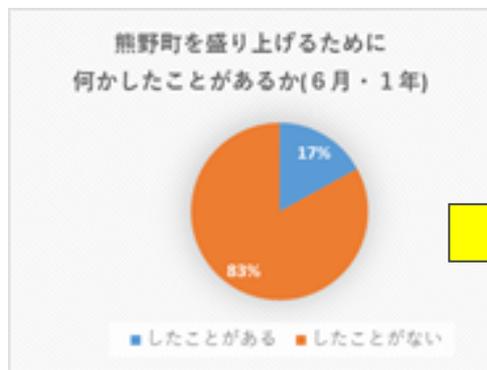
## ★生徒の評価



## ★教員の評価



# シビックプライド醸成・生徒の評価



9月 生徒質問紙	あなたは、熊野町に愛着をもっていますか					肯定 意見
	よく当て はまる	やや当て はまる	どちらと もいえな い	あまり当 てはまら ない	全く当て はまらな い	
1年	29.6	35.7	24.5	6.1	4.1	65.3
2年	32.2	35.6	18.6	6.8	6.8	67.8
3年	38.2	44.1	14.7	2.9	0	82.3
全体	33.33333	38.46667	19.26667	5.26667	3.63333	71.8



1月 生徒質問紙	あなたは、熊野町に愛着をもっていますか					肯定 意見
	よく当て はまる	やや当て はまる	どちらと もいえな い	あまり当 てはまら ない	全く当て はまらな い	
1年	35.7	38.1	17.9	7.1	1.2	73.8
2年	42.4	30.3	16.7	4.5	6.1	72.7
3年	47.4	37.2	9	3.8	2.6	84.6
全体	41.83333	35.2	14.53333	5.13333	3.3	77.03

来年度に向けて

## 今年度の課題

- ①中学校における組曲は、未だ芸術的側面が強く、探究的な学習には至っていない。
- ②校種を超えての児童・生徒同士の交流が少なかった。

## 今後の改善方策

①組曲については、第3学年を中心にカリキュラムを見つめ直し、探究的な学習を推進していく。

②行事や授業交流等で児童・生徒同士が交流できる場を設定する。

→小中のカリキュラムを再度照らし合わせて熟考して、密な小中連携を図っていきたい。

## 現状、課題や研究を進めるうえで難しさを感じていること 他地域の状況などで知りたいこと

- どのような形で小中連携しているか  
(資質能力、行事交流、カリキュラム開発など)
- 校内体制づくりについて
- カリキュラムマネジメントについて